

令和5年度南区地域包括ケア推進会議 議事録

- 1 日時 令和5年12月14日(木) 14:00～15:30
- 2 会場 福岡市南区保健福祉センター 講堂
- 3 出席者 委員(24名中23名出席 うち1名代理出席)、事務局(19名)
- 4 次第

- | | |
|---|---|
| 1 | 会長より開会あいさつ |
| 2 | 委員自己紹介・事務局紹介 |
| 3 | 議事 |
| | 【議題1】令和4年度地域ケア会議の開催状況..... 資料1 |
| | 【議題2】令和5年度の各専門部会報告及び取組状況 |
| | 「在宅医療・介護部会」「権利擁護部会」合同部会..... 資料2 |
| | 生活支援・介護予防部会..... 資料3 |
| | 南区地域包括ケアの取組状況..... 資料4 |
| | 【議題3】福岡市地域包括ケアシステム推進会議に上げる課題について..... 資料5 |
| 4 | その他 |
| 5 | 閉会 |

5 会議経過

【議題1】令和4年度地域ケア会議の開催状況..... 資料1
・資料に基づき事務局が説明

【議題2】各専門部会の報告及び取組状況

○「在宅医療・介護部会」「権利擁護部会」合同部会..... 資料2
・資料に基づき、在宅医療・介護部会と権利擁護部会の部会長がそれぞれ説明

○生活支援・介護予防部会..... 資料3
・資料に基づき部会長が説明

○南区地域包括ケアの取組状況..... 資料4
・資料に基づき事務局より、南区地域包括ケアの過去3年間における課題と取組みの推移について説明。残されている課題として「複合課題に対応できる地域共生社会の実現」「ACP への取組み」「消費者被害防止の取組み」「認知症高齢者に対する理解促進」「オンラインを活用した地域活動等の仕組みづくり」「地域活動における担い手不足が深刻化」「医療・介護等事業所ネットワークの活動推進」を挙げた。

○各委員が5つのグループに分かれて意見交換を実施。「①残されている課題のなかで南区として取り組むべき優先順位が高いと思われるもの」「②その課題に対し南区でどのような取組みが必要と考えられるか」について検討。

○出された意見

| | |
|-------|---|
| 1グループ | <p>① について</p> <ul style="list-style-type: none">・どれもすべて重要とすべき課題であるとの意見が多かったが、その中で「ACP への取組み」を一番優先順位の高い課題として挙げた。認知症の方への取組みに関することや複合課題に関する事など、地域課題においてすべてのことに付随していくという上で ACP は必要と思われる。 <p>② について</p> <ul style="list-style-type: none">・病気を発症した後や課題が複雑になる前の元気な段階で ACP に取り組んでいきたい。公民館で取り上げたり専門職の講習で取り上げるなど。突然 ACP について話しても気を悪くされる方もいるので、専門職としても勉強していく必要がある。専門職として ACP の成功事例と失敗事例を共有して深めていくことも大切。 |
| 2グループ | <p>① について</p> <ul style="list-style-type: none">・共通して上がったのが「認知症高齢者に対する理解促進」と「消費者被害防止の取組み」について。どちらも高齢者の方の困りごとである。引きこもっていて情報が届かない方に消費者被害が多かったり、行方不明になる方は南区では特に高齢者や認知症の方が多いという話を聞いた。コロナ前は認知症の理解や見守り訓練などが地域で取り組まれていたが、コロナでそれがストップしてしまった。 <p>② について</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の見守る力や例えば訪問看護やヘルパーなどの見守る力を上げていかなければならないと思う。公民館に出てきていろんな話を聞いたり警察の話や聞くような人は意識が高いが、そのような場に出て来られないような人にそういう問題が起きやすいということがあるため、民生委員にまわってもらったり、地域住民が気を付けるなど、見守る力を再構築していくことが必要。・このような問題を相談することができる地域包括支援センターが、中学校区ごとではなく小学校区ごとに存在して機能していただくことが大切。 |
| 3グループ | <p>① について</p> <ul style="list-style-type: none">・全て大切な課題であるため、優先順位を考えるうえで、まず「取り組みやすい課題」というところから考えていくべきではないかということで、「ACP への取組み」を挙げた。 <p>② について</p> <ul style="list-style-type: none">・ACP については聞いたこともない人が多い。まずは ACP への理解度を深める市民への啓発が大切。人生の終末期に確認するのではなく、子供のころから学習していった段階的に啓発していく。また、元気な時に意思確認、入院時に意思確認、終末期に意思確認という段階的な対応も必要。どうしたいのかという確認作業の一つのツールとしての「エンディングノート」や「もしバナゲーム」など用いて、家族で共有できることなども取り組みとして必要。・最終的に治療方針を決めるときに、主治医だけではなく、ケアマネジャーなどの多職種集約して反映させることも大切。 |

| | |
|--------|---|
| 4 グループ | <p>① について</p> <p>・優先順位が高いものとして「担い手不足の深刻化」と「認知症高齢者の理解促進」を挙げた。</p> <p>② について</p> <p>まず、担い手不足に関しては、ボランティアの存在が重要になると思われるが、ボランティアに対し、無償ではなく、一回につきいくらか支払ったり、お弁当をつけたり、ポイント制にするなどして、担い手を獲得することが大切と思われる。</p> <p>また、地域で何かできることを考えていかななくてはならないというところで、全世代が興味を持つような防災イベントなどを行った結果、比較的声がかけやすかったというような話も聞いた。そういうところから最終的に認知症理解というところに繋がればいいかと思う。初めから「認知症の理解」というテーマでは壮大すぎるので、まずは、できるところを小さいところから考えていくことが必要と思う。</p> |
| 5 グループ | <p>① について</p> <p>・全て重要な課題ではあるが、南区で取り組むべき課題ということで考えたときに、区レベルと市レベルで考えるものとなると性質が異なるのではないかということで、最終的には「担い手不足の深刻化」というところを挙げた。</p> <p>② について</p> <p>現状として、校区の中で、民生委員や社協など、制度が複雑で縦割りだったりするところであまり情報共有できていないというような課題がある。一方で実際には、可能な範囲で情報共有するなど、現場レベルで工夫をして支援していただいている。担い手不足を一朝一夕に解決するのは難しいが、少ない担い手の中で効率的に行っていく良い仕組みがあれば、校区レベルから共有して広げていく。これを南区の取組みとして挙げていけばよいのではないか。</p> <p>また、担い手不足というところで、「南区いいともネット」という事業所ネットワークに積極的に参加を呼び掛けて、そこから人材を発掘できないかという提案もあった。</p> |
| 事務局 | <p>ACP、認知症、消費者被害、認知症というところで、課題が多く出されていた。ACP については、認知症など広く課題解決につながるのではないかと、また防災をツールとして ACP や認知症につなげていくというような貴重なご意見をいただいた。来年度の活動につなげていきたい。</p> <p>今回の課題の中には複合課題やオンラインは出てきていないが、南区としては、各部会から出されている課題として引き続き共有して取り組んでいきたい。</p> |
| 会長 | <p>いずれも重要な課題で、現実問題として工夫が必要であると感じた。南区だけではなく福岡市全体で工夫していかなければならない。</p> |

●議題1, 2について特に意見・質問なく承認。

【議題3】福岡市地域包括ケアシステム推進会議に上げる課題について.....資料5

・資料に基づき事務局が説明

| | |
|----|---|
| 会長 | 各部会からの課題について、福岡市地域包括ケアシステム推進会議に上げるということによろしいか。先ほどの意見交換から、やはり福岡市地域包括ケアシステム推進会議に上げたほうがよいというような課題はないか。 |
|----|---|

●議題3について特に意見・質問なく承認。

【その他】

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 福岡市作成のエンディングノートについては、各いきいきセンターや区役所で配布しており、多くの市民の方から興味を持っていただいている。福岡市のホームページからダウンロードもできるため、ご覧いただきたい。 |
|-----|---|

【閉会】

| | |
|-----|---|
| 副会長 | <p>短時間ではあったが、専門分野の方、地域の方、また行政も含めて、分野が違う方々が、一つの地域包括ケアという一つのテーマで、本当に活発な議論をいただき、勉強になった。ぜひこれを市の部会にも挙げていき、南区としても取組みを強めていきたい。</p> <p>いきいきセンターについては、一生懸命やっただいており、実際関わるなかで大変だろうと感じている。市に対しては、ぜひいきいきセンターが各小学校区に一つあるような、そんな時代がつかれるといいなということを念願しているということを申し上げて、閉会の挨拶とする。</p> |
|-----|---|

会議終了